

調査結果の概要

1 みかん

(1) 結果樹面積

結果樹面積は4万7,000haで、19年産に比べて2,300ha(5%)減少した。

これは、中山間地の条件不利地や老木園の廃園、その他かんきつ類への転換等が進んだためである。

(2) 10a当たり収量

10a当たり収量は2,130kgで、19年産に比べて1%下回った。

(3) 収穫量及び出荷量

収穫量は100万3,000t、出荷量は89万3,400tで、19年産に比べてそれぞれ6万3,000t(6%)、5万7,100t(6%)減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、和歌山県が19%、愛媛県が16%、静岡県が12%となっており、この3県で全国の約5割を占めている。

図1 みかんの結果樹面積及び収穫量の推移

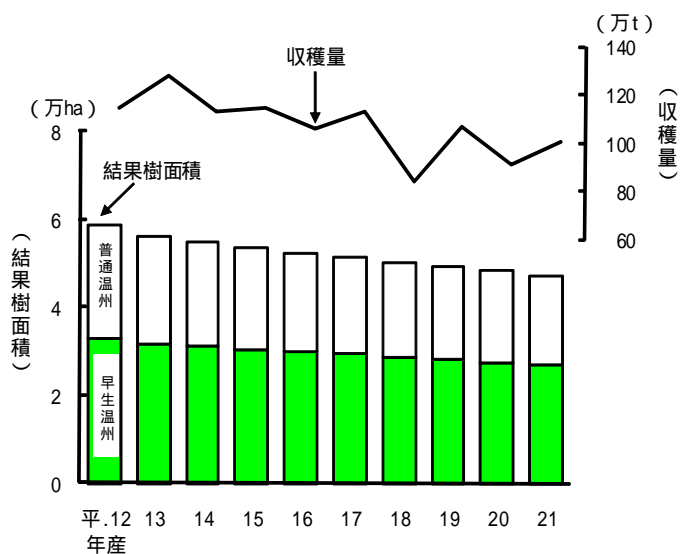


図2 平成21年産みかんの都道府県別収穫量割合

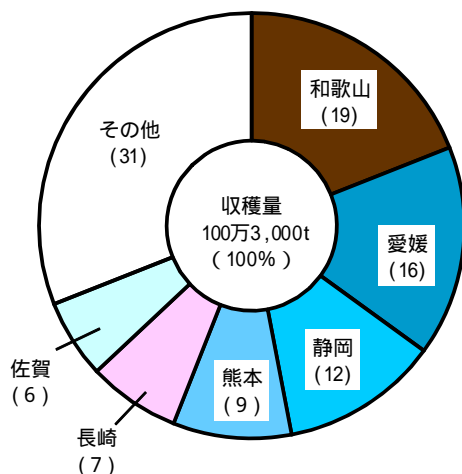


表1 平成21年産みかんの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目・品種	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量		出荷量	19年産対比			
			実数	割合		結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	%	t	%	%	%	%
みかん	47 000	2 130	1 003 000	100	893 400	95	99	94	94
早生温州	26 700	2 180	581 700	58	524 900	95	97	93	92
うち極早生みかん	8 720	1 990	173 100	17	157 600	95	100	95	96
ハウスみかん	612	4 800	29 400	3	28 100	72	99	72	72
普通温州	20 200	2 080	421 000	42	368 300	95	101	96	96

注：みかんは、果実数が多くなる年(表年)と少くなる年(裏年)とが交互に発生する現象(隔年結果)が顕著であり、21年産は表年であることから統計結果の対比については前の表年(19年産)と行った。

2 りんご

(1) 結果樹面積

結果樹面積は3万8,800haで、前年産に比べて700ha(2%)減少した。

これは、生産者の高齢化に伴う労働力事情等による廃園等が進んだためである。

(2) 10a当たり収量

10a当たり収量は2,180kgで、前年産に比べて6%下回った。

これは、開花期の天候不順の影響等により、着果数が減少したことに加え、果実肥大も悪かったためである。

(3) 収穫量及び出荷量

収穫量は84万5,600t、出荷量は75万1,200tで、前年産に比べてそれぞれ6万5,100t(7%)、5万8,400t(7%)減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、青森県が54%、長野県が19%となっており、この2県で全国の約7割を占めている。

図3 りんごの結果樹面積及び収穫量の推移

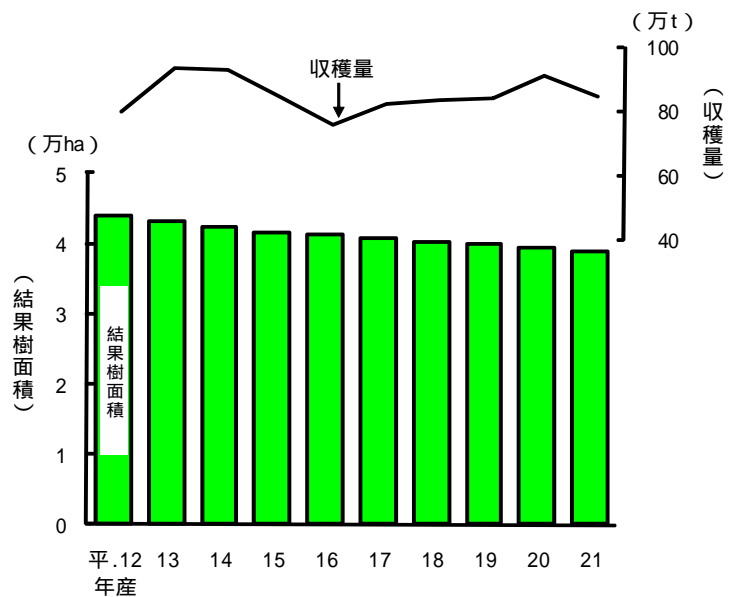


図4 平成21年産りんごの都道府県別収穫量割合

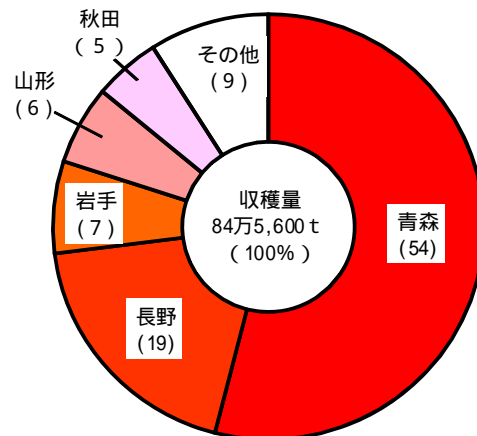


表2 平成21年産りんごの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目・品種	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量		出荷量	前年産対比			
			実数	割合		結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	%	t	%	%	%	%
りんご	38 800	2 180	845 600	100	751 200	98	94	93	93
うちふじ	20 100	2 370	475 700	56	420 800	99	95	94	94
つがる	5 250	1 840	96 700	11	86 100	99	93	92	92
ジョナゴールド	3 170	2 150	68 100	8	60 200	93	91	85	83
王林	3 430	1 950	67 000	8	59 600	98	92	90	90

3 日本なし

(1) 結果樹面積

結果樹面積は1万4,200haで、前年産に比べて100ha(1%)減少した。

(2) 10a当たり収量

10a当たり収量は2,240kgで、前年産に比べて3%下回った。

これは、開花期、生育期の天候不順の影響等によるものである。

(3) 収穫量及び出荷量

収穫量は31万7,900t、出荷量は29万2,700tで、前年産に比べてそれぞれ1万300t(3%)、9,000t(3%)減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、千葉県が13%、茨城県が10%、福島県が8%となっており、この3県で全国の約3割を占めている。

図5 日本なしの結果樹面積及び収穫量の推移

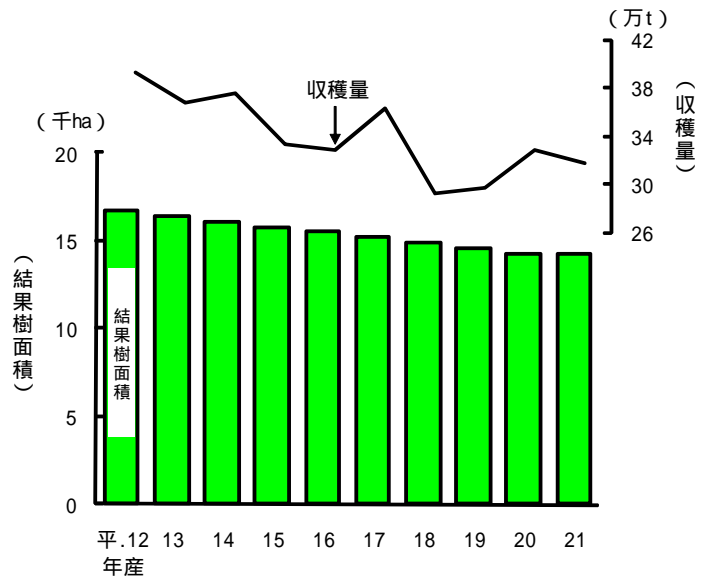


図6 平成21年産日本なしの都道府県別収穫量割合

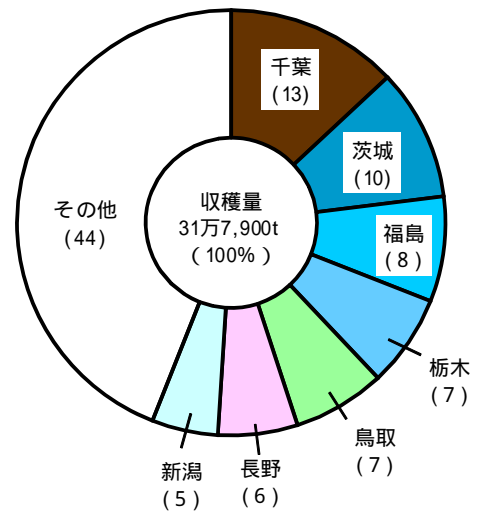


表3 平成21年産日本なしの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	前年産対比			
					結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
日本なし	14 200	2 240	317 900	292 700	99	97	97	97

4 西洋なし

(1) 結果樹面積

結果樹面積は1,680haで、前年産に比べて20ha（1%）減少した。

(2) 10a当たり収量

10a当たり収量は2,000kgで、前年産に比べて2%上回った。

これは、山形県で開花期、生育期におおむね天候に恵まれたことから、結果数が前年産を上回り、果実肥大も良好であったためである。

(3) 収穫量及び出荷量

収穫量は3万3,600t、出荷量は2万9,600tで、それぞれ前年産並みとなった。

都道府県別にみた収穫量割合は、山形県が全国の約7割を占めている。

図7 西洋なしの結果樹面積及び収穫量の推移

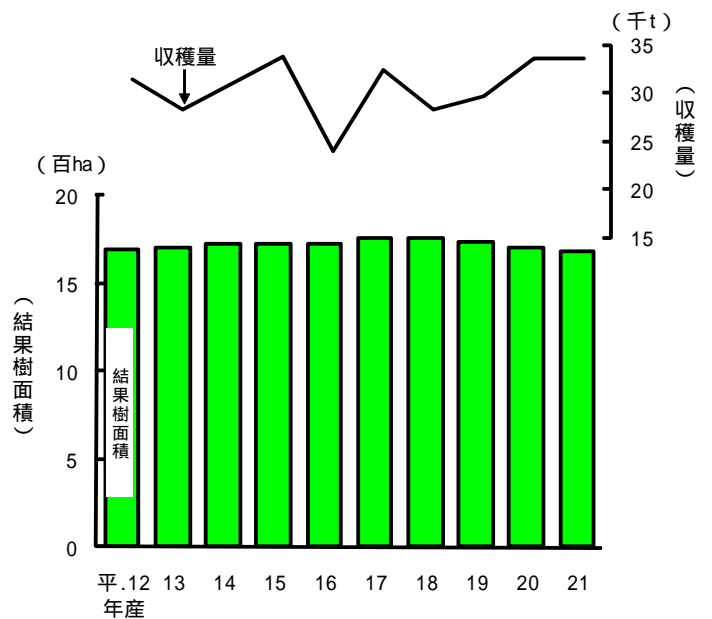


図8 平成21年産西洋なしの都道府県別収穫量割合

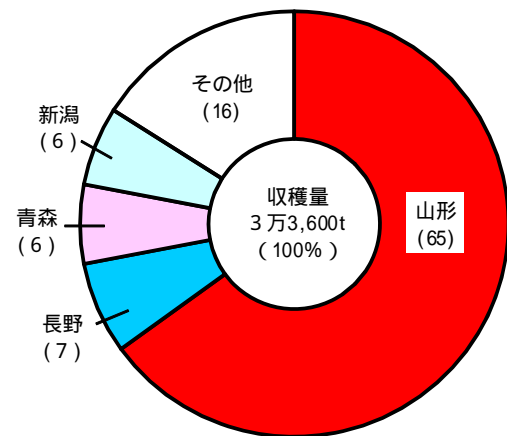


表4 平成21年産西洋なしの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品 目	結果樹面積	10a当たり収量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比			
					結果樹面積	10a当たり収量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
西 洋 な し	1 680	2 000	33 600	29 600	99	102	100	100

5 かき

(1) 結果樹面積

結果樹面積は2万2,700haで、前年産に比べて300ha(1%)減少した。

(2) 10a当たり収量

10a当たり収量は1,140kgで、前年産に比べて2%下回った。

これは、主に東北、関東・東山、北陸などで開花期の天候不順の影響等により、結果数が減少したためである。

(3) 収穫量及び出荷量

収穫量は25万8,000t、出荷量は21万2,100tで、前年産に比べてそれぞれ8,600t(3%)、1,300t(1%)減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、和歌山県が22%、奈良県が12%、福岡県が10%、岐阜県が7%となっており、この4県で全国の約5割を占めている。

図9 かきの結果樹面積及び収穫量の推移

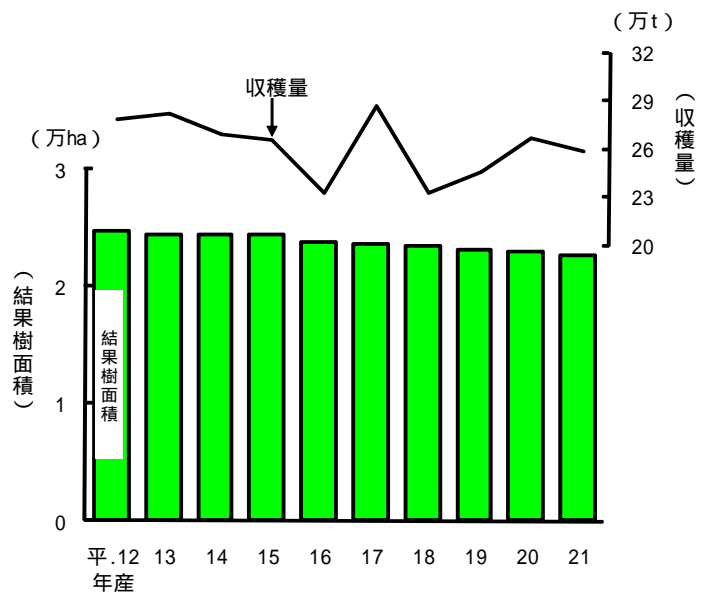


図10 平成21年産かきの都道府県別収穫量割合

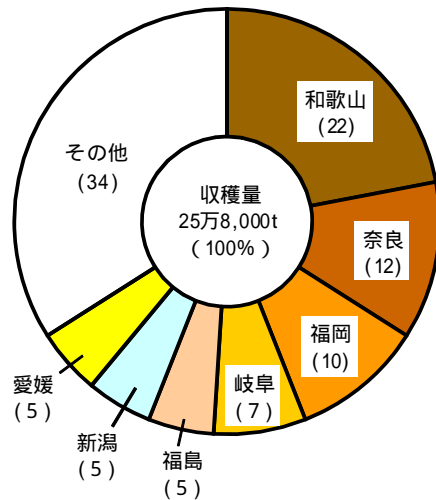


表5 平成21年産かきの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	前年産対比			
					結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
かき	22 700	1 140	258 000	212 100	99	98	97	99

6 びわ

(1) 結果樹面積

結果樹面積は1,680haで、前年産に比べて30ha（2%）減少した。

(2) 10a当たり収量

10a当たり収量は396kgで、前年産に比べて5%下回った。

これは、一部地域で開花期の低温やその後の降雨の影響により、作柄の良かった前年産に比べて結果数が減少したためである。

(3) 収穫量及び出荷量

収穫量は6,650t、出荷量は5,410tで、前年産に比べてそれぞれ460t（6%）、370t（6%）減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、長崎県が33%、千葉県が12%、鹿児島県が9%、香川県及び愛媛県が8%となっており、この5県で全国の7割を占めている。

図11 びわの結果樹面積及び収穫量の推移

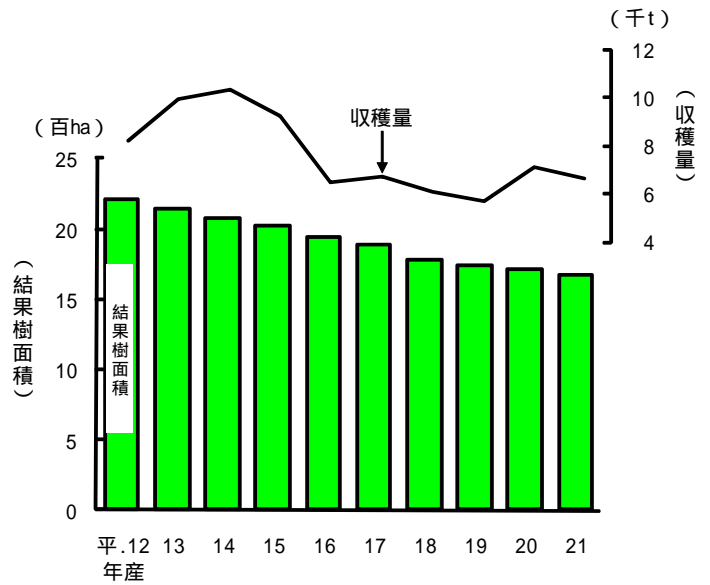


図12 平成21年産びわの都道府県別収穫量割合

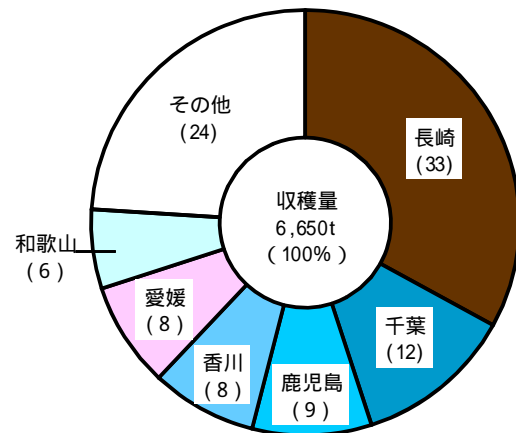


表6 平成21年産びわの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	前年産対比			
					結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
びわ	ha	kg	t	t	%	%	%	%
	1 680	396	6 650	5 410	98	95	94	94

7 もも

(1) 結果樹面積

結果樹面積は1万100haで、前年産並みとなった。

(2) 10a当たり収量

10a当たり収量は1,490kgで、前年産に比べて4%下回った。

これは、山梨県などにおいて生育期の天候不順の影響等により、結果数が減少したためである。

(3) 収穫量及び出荷量

収穫量は15万700t、出荷量は13万8,300tで、前年産に比べてそれぞれ6,600t(4%)、5,800t(4%)減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、山梨県が33%、福島県が20%となっており、この2県で全国の約5割を占めている。

図13 ももの結果樹面積及び収穫量の推移

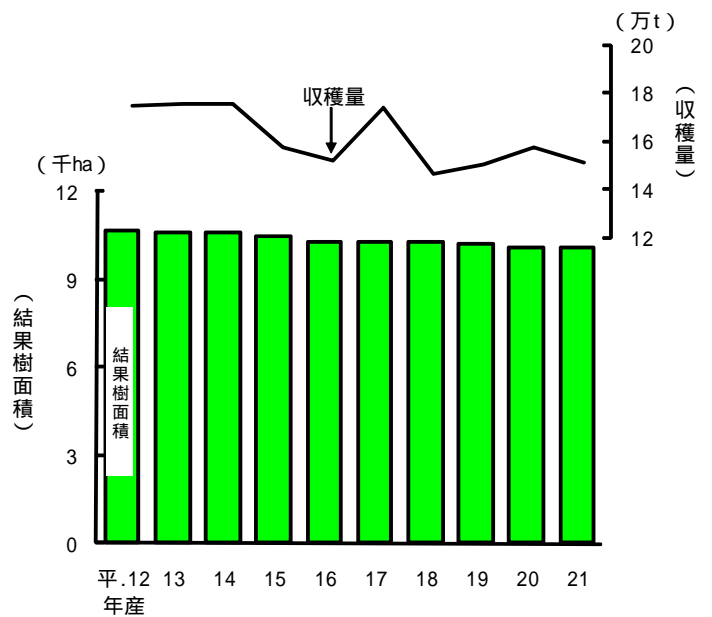


図14 平成21年産ももの都道府県別収穫量割合

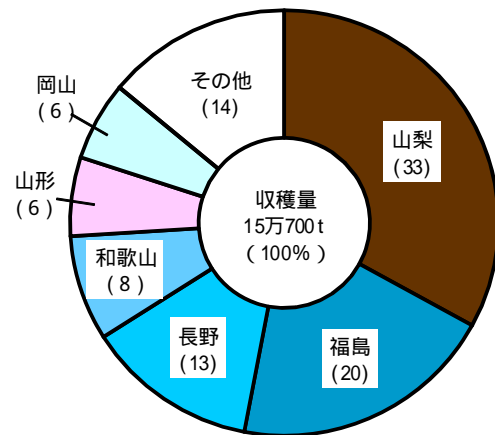


表7 平成21年産ももの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	前年産対比			
					結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
もも	10 100	1 490	150 700	138 300	100	96	96	96

8 すもも

(1) 結果樹面積

結果樹面積は3,010haで、前年産並みとなった。

(2) 10a当たり収量

10a当たり収量は694kgで、作柄の良かった前年産に比べて19%下回った。

これは、山梨県、和歌山県などにおいて開花期の天候不順による受精不良が発生したことなどにより、結果数が減少したためである。

(3) 収穫量及び出荷量

収穫量は2万900t、出荷量は1万8,100tで、前年産に比べてそれぞれ5,100t（20%）、4,500t（20%）減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、山梨県が33%、長野県が14%となっており、この2県で全国の約5割を占めている。

図15 すももの結果樹面積及び収穫量の推移

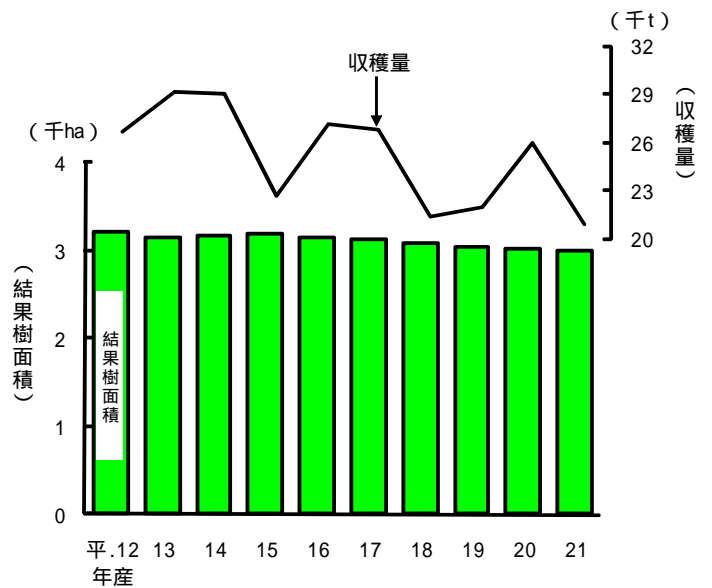


図16 平成21年産すももの都道府県別収穫量割合

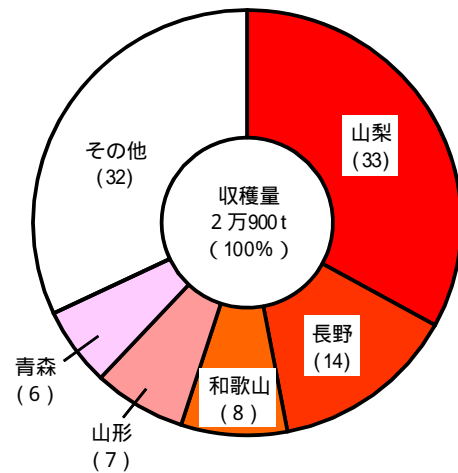


表8 平成21年産すももの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品 目	結果樹面積	10a当たり収量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比			
					結果樹面積	10a当たり収量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
す も も	3 010	694	20 900	18 100	100	81	80	80

9 おうとう

(1) 結果樹面積

結果樹面積は4,450haで、前年産に比べて40ha（1%）減少した。

(2) 10a当たり収量

10a当たり収量は373kgで、前年産に比べて2%下回った。

これは、山形県では前年産並みであったものの、青森県及び山梨県で4月の天候不順により、結果数が減少したためである。

(3) 収穫量及び出荷量

収穫量は1万6,600t、出荷量は1万4,700tで、前年産に比べてそれぞれ400t（2%）、300t（2%）減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、山形県が全国の約7割を占めている。

図17 おうとうの結果樹面積及び収穫量の推移

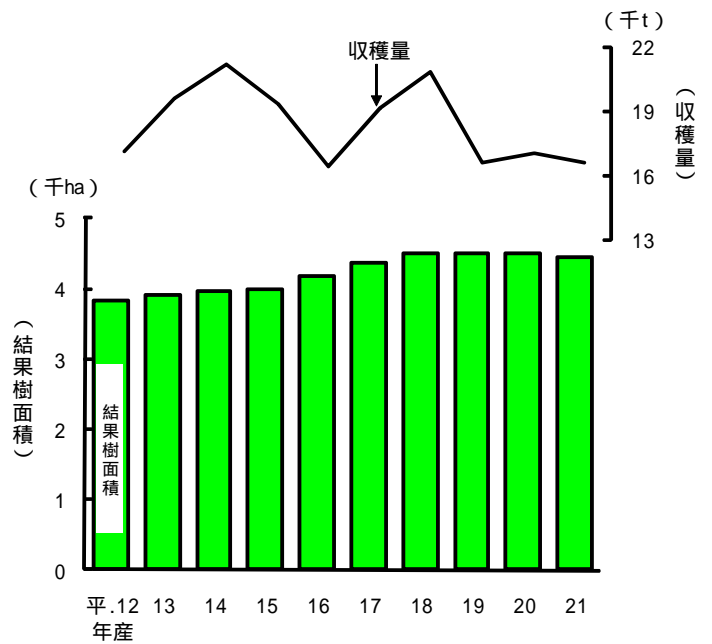


図18 平成21年産おうとうの都道府県別収穫量割合

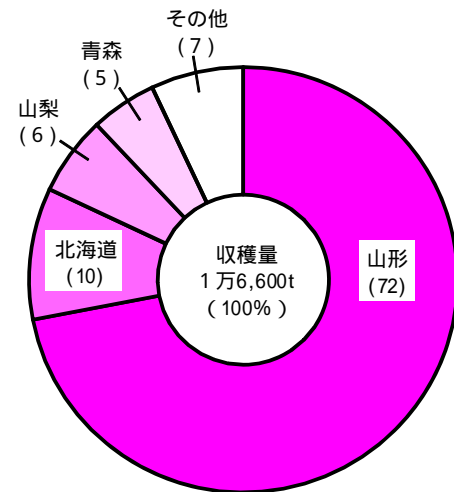


表9 平成21年産おうとうの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	前年産対比			
					結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
おうとう	4 450	373	16 600	14 700	99	98	98	98

10 うめ

(1) 結果樹面積

結果樹面積は1万7,100haで、前年産に比べて300ha(2%)減少した。

(2) 10a当たり収量

10a当たり収量は674kgで、前年産に比べて3%下回った。

これは、和歌山県では前年産並みであったものの、その他の主産県で開花期以降の天候不順により、受精不良が発生し、結果数が減少したためである。

図19 うめの結果樹面積及び収穫量の推移

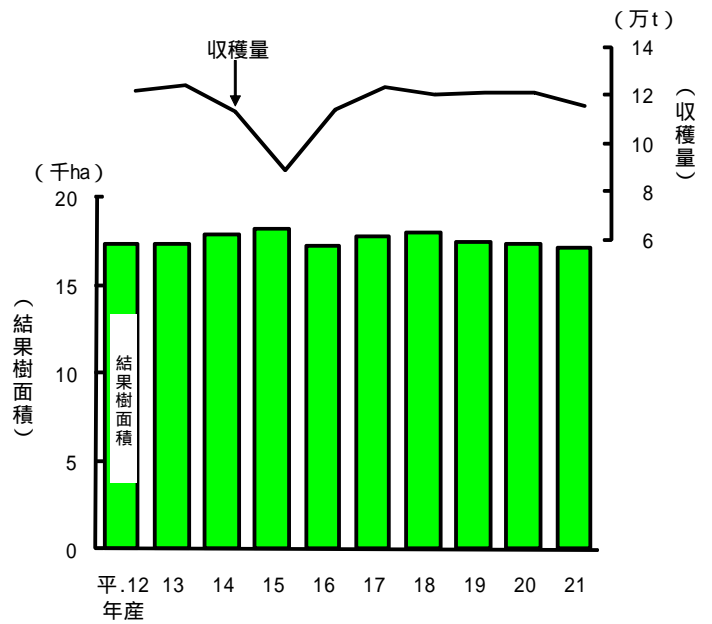


図20 平成21年産うめの都道府県別収穫量割合

(3) 収穫量及び出荷量

収穫量は11万5,200t、出荷量は9万9,700tで、前年産に比べてそれぞれ5,800t(5%)、3,900t(4%)減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、和歌山県が全国の約6割を占めている。

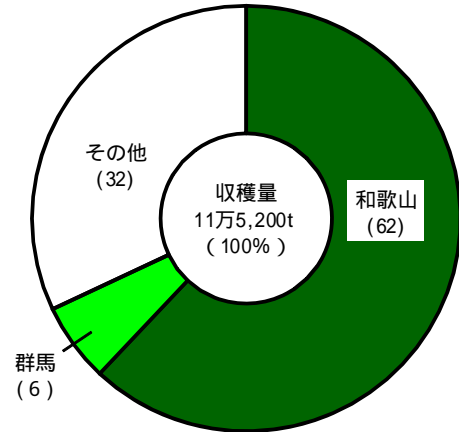


表10 平成21年産うめの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	前年産対比			
					結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
うめ	17 100	674	115 200	99 700	98	97	95	96

11 ぶどう

(1) 結果樹面積

結果樹面積は1万8,300haで、前年産に比べて100ha(1%)減少した。

(2) 10a当たり収量

10a当たり収量は1,100kgで、前年産に比べて1%上回った。

(3) 収穫量及び出荷量

収穫量は20万2,200t、出荷量は18万4,800tで、前年産に比べてそれぞれ1,200t(1%)、1,500t(1%)増加した。

都道府県別にみた収穫量割合は、山梨県が25%、長野県が13%、山形県が10%となっており、この3県で全国の約5割を占めている。

図21 ぶどうの結果樹面積及び収穫量の推移

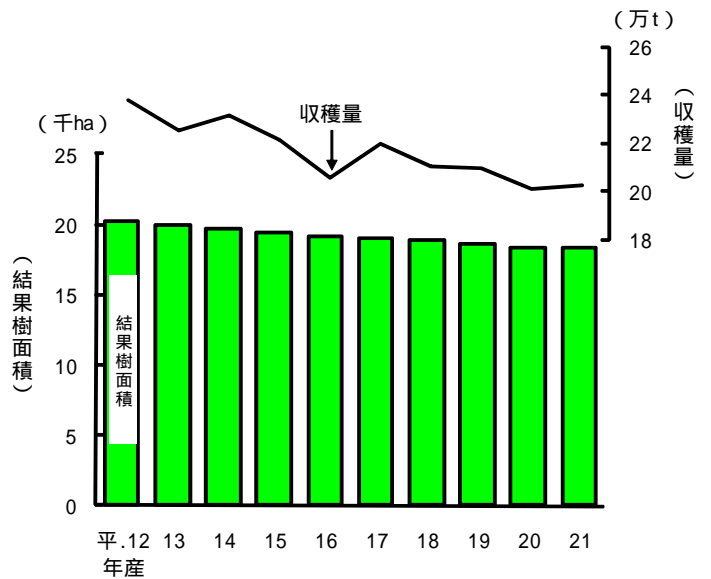


図22 平成21年産ぶどうの都道府県別収穫量割合

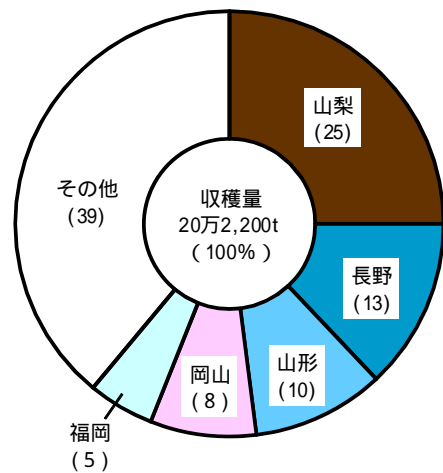


表11 平成21年産ぶどうの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	前年産対比			
					結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
ぶどう	18 300	1 100	202 200	184 800	99	101	101	101

図23 くりの結果樹面積及び収穫量の推移

(1) 結果樹面積

結果樹面積は2万2,100haで、前年産に比べて400ha(2%)減少した。

これは、生産者の高齢化に伴う労働力事情等による廃園等が進んだためである。

(2) 10a当たり収量

10a当たり収量は98kgで、前年産に比べて12%下回った。

これは、主産県において開花期、生育期の天候不順の影響等により、結果数が減少したためである。

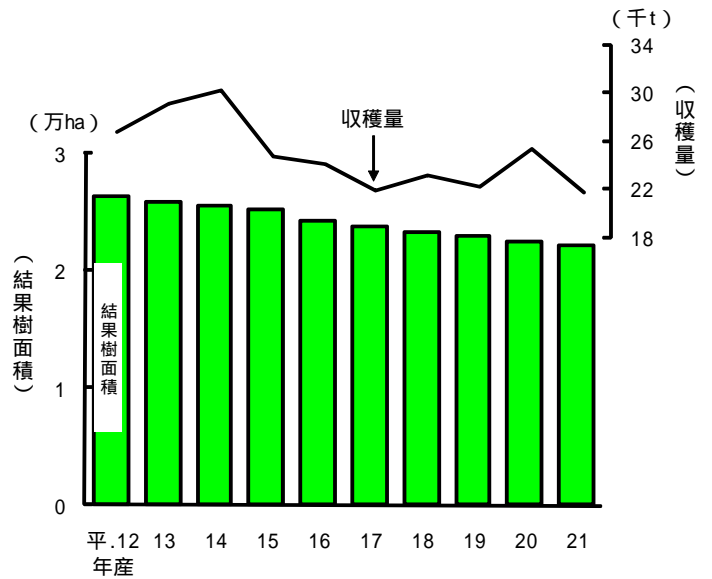


図24 平成21年産くりの都道府県別収穫量割合

(3) 収穫量及び出荷量

収穫量は2万1,700t、出荷量は1万5,600tで、前年産に比べてそれぞれ3,600t(14%)、2,700t(15%)減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、茨城県が22%、熊本県が14%、愛媛県が11%となっており、この3県で全国の約5割を占めている。

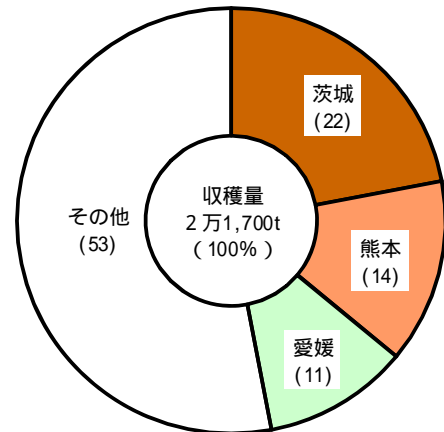


表12 平成21年産くりの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	前年産対比			
					結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
くり	22 100	98	21 700	15 600	98	88	86	85

13 パインアップル（沖縄県）

(1) 収穫面積

収穫面積は413haで、前年産に比べて5 ha（1%）減少した。

(2) 10a当たり収量

10 a 当たり収量は2,330kgで、前年産に比べて2%下回った。

これは、天候不順の影響等から果実肥大が抑制されたことなどによる。

(3) 収穫量及び出荷量

収穫量は9,620t、出荷量は9,430tで、前年産に比べてそれぞれ290t（3%）、260t（3%）減少した。

図25 パインアップルの収穫面積及び収穫量の推移

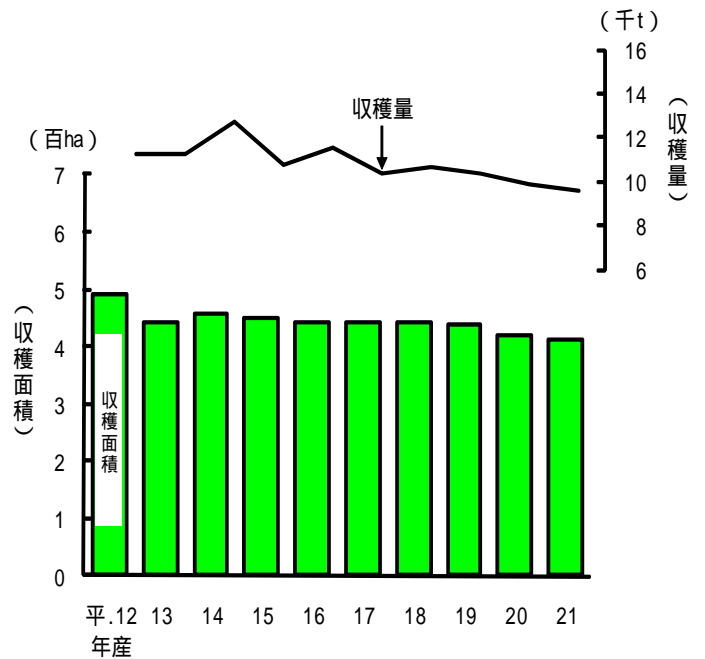


表13 平成21年産パインアップルの収穫面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品 目	収穫面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	前年産対比			
					収穫面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
パインアップル	413	2 330	9 620	9 430	99	98	97	97

14 キウイフルーツ

(1) 結果樹面積

結果樹面積は2,370haで、前年産並みとなった。

(2) 10a当たり収量

10 a 当たり収量は1,480kgで、作柄の良かった前年産に比べて8%下回った。

これは、開花期から生育期にかけての天候不順の影響等により、肥大が抑制されたことによる。

(3) 収穫量及び出荷量

収穫量は3万5,000t、出荷量は2万9,900tで、前年産に比べてそれぞれ3,400t(9%)、2,500t(8%)減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、愛媛県が26%、福岡県が19%、和歌山県が11%となっており、この3県で全国の約6割を占めている。

図26 キウイフルーツの結果樹面積及び収穫量の推移

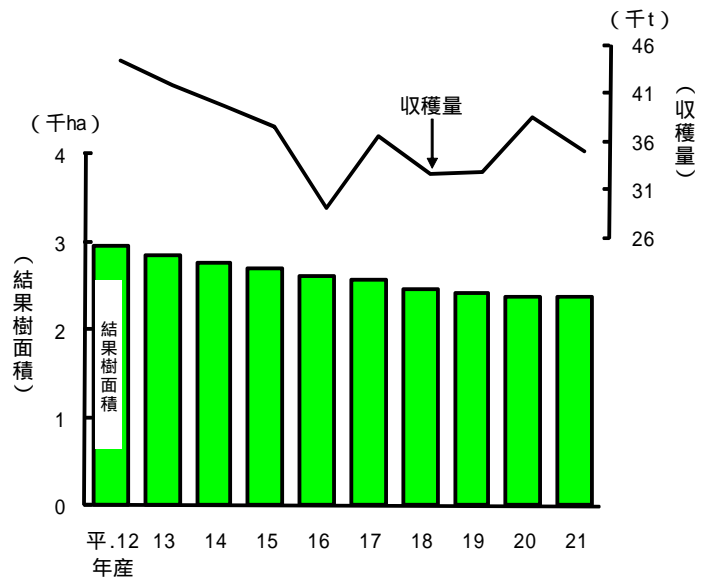


図27 平成21年産キウイフルーツの都道府県別収穫量割合

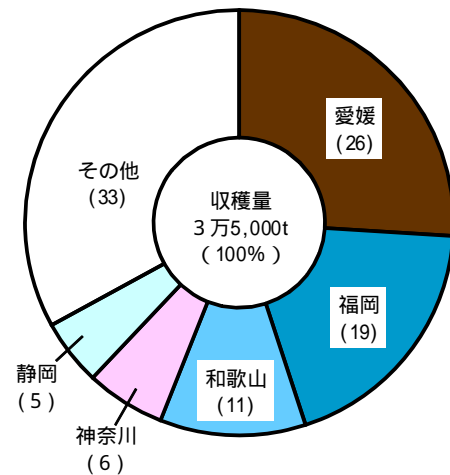


表14 平成21年産キウイフルーツの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	前年産対比			
					結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
キウイフルーツ	ha	kg	t	t	%	%	%	%
	2 370	1 480	35 000	29 900	100	92	91	92